

「歯科医師の資質向上等に関する検討会」 歯科医療の専門性に関するワーキンググループ

1. 目的

医師の専門医については、医師の質の一層の向上等を目的に「専門医の在り方に関する検討会」が開催され、報告書が平成 25 年4月に取りまとめられた。同報告書をもとに、平成 29 年度を目安に新たな専門医の養成を開始するなど、医師や医療を取り巻く状況を踏まえた様々な観点からの取り組みが行われている。

一方、歯科については、平成 18 年に公表された「新医師総合確保対策」において歯科の専門医制についても検討するとされているが、昨今の国民が求める歯科医療ニーズの多様化を踏まえ、改めて国民が求める歯科医療の専門性等について一から議論を行う。

2. 想定される主な検討内容

- ・ 国民が求める歯科医療の多様化に対応しつつ、安全・安心な歯科医療を提供するために、歯科医療の専門性についてどのように考えるか。
- ・ その上で、歯科医療の中で既に位置づけられている専門医についてどのように考えるか。

3. ワーキンググループの位置付けについて

- ・ 「歯科医師の資質向上等に関する検討会」の下部組織として、歯科医療の専門性について有識者により検討する。

4. スケジュール(予定)

平成 27 年 4 月 23 日 : 第1回ワーキンググループ
(以降 3ヶ月に1回程度開催)

平成27年1月16日

歯科医師の資質向上に関して議論する主な事項

<背景>

- ▶ 小児のう蝕罹患率の低下や8020達成者の増加がみられ、また、口腔と全身との関係に着目した知見が集積されるなど、高齢者のQOLの維持・向上を念頭におきつつ、各ライフステージに対して切れ目なく歯科医療を提供していくことが求められている。
- ▶ 平成23年8月には、「歯科口腔保健の推進に関する法律」が公布・施行され、口腔の健康が、質の高い生活を営む上で基礎的かつ重要な役割を担っていることが条文で謳われていることを踏まえ、医療現場や介護現場と連携して歯科医療を提供していくことが不可欠となっている。
- ▶ 高齢化の進展に伴い、歯科医療機関を受診する患者像も高齢化・多様化しており、これらの患者に対応するための、歯科医療の提供の在り方や歯科医師の資質向上の検討が求められている。

